目次

まえがき　i
本書の凡例　viii

序章　3
第1節　はじめに　3
第2節　本書の目的と課題　7
第3節　大学アーカイブズの先行研究と本書の位置　9
第4節　本書の内容　13
第5節　国立大学法人小樽商科大学　16
第6節　小括　16

第1章　小樽商科大学の文書管理　21
第1節　はじめに　21
第2節　小樽商科大学と文書管理に関わる社会的意識の変化　22
第3節　大学内の行政文書等の管理状況調査の概要　24
第4節　大学内の行政文書等の管理状況調査と「小樽商科大学行政文書管理規程」　26
第5節　大学内の行政文書等の管理状況の調査　28
第6節　大学内の行政文書等の管理状況の調査結果について　38
第7節　小括　40

第2章　著作物でもある法人文書の公開　49
第1節　はじめに　49
第2節　不開示の例として卒業論文を列挙している国立大学法人　52
第3節　「独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律」における個人情報などについて　62
第4節　法人文書に含まれる著作物の考え方と卒業論文　68
第5節　小括　69

第3章　電子目録の作成とその利用　77
第1節　はじめに　77
第2節　資料集「緑丘アーカイブズ」の背景にある考え方　78
第3節　所収されている資料について　84
第4節　資料利用の具体例　87
第5節　資料集「緑丘アーカイブズ」を成立させるための実務上の条件　120
第6節　小括　124

第4章　法人文書の収集と評価選別理論　131
第1節　はじめに　131
第2節　歴史的資料と情報公開法　133
第3節　重要な記録が失われた例（カナダのナチ戦犯容疑者資料廃棄事件）　135
第4節　評価選別理論と年史編纂室　137
第5節　小樽商科大学の関連する規程など　141
第6節　移管の基本的な考え方と京都大学および東北大学　146
第7節　小括　151

第5章　文書管理の実際とその思想的背景　157
第1節　はじめに　157
第2節　小樽商科大学百年史編纂室による法人文書の収集　158
第3節　自治体のアーカイブズ（宮城県・大阪市・福岡県・三重県）　168
第4節　フィンランドのアーカイブズ文化と制度　177
第5節　小括　189

第6章　スウェーデンにおけるアーカイブズの現況と情報アクセス権の成立およびカタログについて　197
第1節　はじめに　197
第2節　アーカイブズの多様性と北欧のアーカイブズ　199
第3節　スウェーデンでの情報アクセス権の成立　200
第4節　スウェーデンでのアーカイブズの現況　202
第5節　カタログについて　210
第6節　小括　214

第7章　小樽商科大学におけるアーカイブズ運営の条件　219
第1節　はじめに　219
第2節　業務の背景にある考え方とその成果　222
第3節　アーカイブズでの資料の利用　242
第4節　アーカイブズの種類とノルウェー・オスロ大学の例　248
第5節　小括　254

結　章　263
第1節　はじめに　263
第2節　研究の成立した背景　265
第3節　各章の内容確認　266
第4節　今後の研究課題　271
第5節　アーカイブズに関連する権利を考えるための研究例　274
第6節　アーカイブズと「知る権利」および「プライバシー権」　275
第7節　小括　276

カタログ　小樽商科大学公文書（抄）　281

参考文献等一覧　443
調査対象機関一覧　449
あとがき　451
初出一覧　456
索　引　1